

22.特色ある議会施設・運営の事例

(平成 23 年 1 月 1 日～12 月 31 日、84 市)

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
北海道	帯広市	C	●常任委員会及び特別委員会を含めた議会インターネット中継(生中継・録画配信)
北海道	稚内市	A	質問席の設置(対面方式への変更)
青森県	五所川原市	B	①東日本大震災復興支援として街頭募金活動(3月) ②東日本大震災被災地視察
岩手県	陸前高田市	A	陸前高田市震災復興計画を地方自治法第 96 条第 2 項に定める議会の議決すべきものとし、特別委員会の所管事務調査を踏まえ、当該計画に対し提言を行った。
宮城県	角田市	A	一般会議の開催・・・各種団体とその所管する常任委員会等の意見交換、情報交換を実施
宮城県	多賀城市	B	東日本大震災後改選まで、政務調査費を申請しないこと、また行政視察を行わないことを申し合わせ、その予算は、市の災害復旧・復興経費に充てた。
宮城県	栗原市	B	膜天井の議場
山形県	米沢市	B	伝統産業である「米沢織り」の振興に寄与するため、3月定例会の初日は、本会議出席者全員(消防長を除く)が着物を着て本会議を行う「きもの議会」を開催している。
山形県	寒河江市	A	9月定例会より本会議、12月定例会より予算・決算特別委員会を含めインターネット中継(ライブ&録画)を行っている。
山形県	上山市	A	● 市政に対する関心を高めると共に、議会の活性化の一方策として平成10年から本会議(一般質問)1日をサンデー議会として開催している。開催は例年9月定例会において実施。
福島県	伊達市	B	「ニット議会」の開催。地場産業の活性化を支援するため、本会議への出席者全員がニット製品(カーディガン)を着用し、議会を開催。(12月議会)
富山県	南砺市	B	ユーストリームにより、本会議をインターネット中継。
石川県	金沢市	F	聴覚に障害のある方に本会議を傍聴していただくため、パソコンによる要約筆記を実施。
石川県	野々市市	A	円形型の議場。一般質問を対面式で実施。
福井県	小浜市	A	電子採決システムの導入、運用(12月～)
長野県	長野市	E	●9月定例会で消費電力ピーク時の電力の低減を図るため早朝議会を開催(本会議午前7時、委員会午前8時30分開議)
長野県	松本市	D	・請願・陳情者の趣旨説明: 請願・陳情者が希望する場合に、審査の際に趣旨説明する機会を設けている。・移動委員会: 地域住民に関わりが深く、関心の高い議題については、当該地区で委員会を開催。・委員会レポート: 毎定例会後に委員会審査状況及び直近の議会活動等を地元CATVで放送。・議会報告会: 議会の仕組み、議会基本条例の取組み、定例会審議結果等を報告し、参加者から議会に対する意見・提言をいただく。(平成23年は、11月21日に3会場で開催。)・ステップアップ市民会議: 委員を公募し、委員からの意見・提言を議会活動・議会運営に反映する。・当初予算説明会: 2月定例会招集日の翌日から3日間の日程で開催し、財政課長等から詳細説明を受け、質疑の機会を設けている。・議会子ども控室: 議会を傍聴する子連れの保護者等のため赤ちゃん用ベッド、遊具、絵本などを配備した部屋を2000年12月定例会から開設。事前予約をいただき、保育士を手配。予約の無い場合は、一般傍聴者控室・議員面談室として利用。
長野県	飯田市	C	市の施策・事務事業に対する行政評価を行い、市側に提言を行った。
長野県	千曲市	B	議会だよりの号外を作成し配布
東京都	立川市	C	予算・決算特別委員会委員を、正副議長、監査委員(決算のみ)、代表質問・総括質問を行った議員以外の全議員とした

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
東京都	三鷹市	C	・全議員が「認知症サポーター養成講座」受講 ・「三鷹市議会議員旧姓使用取扱要綱」の制定 ・議長車(リース)をハイブリッドカーに更新
東京都	昭島市	C	第3回定例会本会議を、夏期電気使用量削減のため議場から会議室に変更して開催した。
東京都	東村山市	C	議会基本条例制定を進める特別委員会は、議会事務局はサポートせず、委員が主体的に会議を運営している。
東京都	福生市	B	インターネット議会中継 音声反訳議事録作成システム
東京都	千代田区	A	①投票システムを使用した採決の結果を議場内スクリーンに表示(各議員ごとに賛否を表示)するとともに、議会だよりやホームページにおいても各議員ごとの賛否の結果を公表している。②議場の議員及び理事者席を可動・収納式にすることにより、斜行型や対面型などレイアウトの自由度を増している。また、講演会など多目的に利用できるようにしている。
東京都	港区	D	議場見学:区立小学校3年生の社会科見学先として受け入れ 出前講座:地域の要望があれば、議会のしくみ等を説明する講座を開設
東京都	杉並区	G	本会議、委員会開催時の託児 土曜議会の開催(一定)
神奈川県	横浜市	H	ツイッターによる議会広報の実施(横浜市会からのお知らせやホームページの更新情報などを配信)
神奈川県	川崎市	H	平成22年第4回定例会から議場内ディスプレイに質疑・質問を補完することを目的として議員自らが用意した資料を表示している。
神奈川県	伊勢原市	B	1. 一般質問の残り時間を明示して、傍聴者に分かりやすくするとともに、議会運営を効率的かつ円滑に行うため、残時間表示計を議場に設置した。 2. 自席で質問する議員が傍聴者に見えるように、議場に映像モニターを設置した。
山梨県	中央市	A	・本会議、委員会において議員の呼び方を〇〇君から〇〇議員に変更した
茨城県	つくばみらい市	A	小・中学生の市議会傍聴の促進
栃木県	宇都宮市	G	議場ジャズコンサートの開催(平成23年6月)
栃木県	栃木市	C	移動議会(合併前の旧市町の地域に出向いて常任委員会を開催)
栃木県	那須塩原市	C	正副議長選において、所信表明会を試験的に実施
群馬県	前橋市	E	・毎年、第4回定例会(12月)の初日と最終日に議場コンサートを開催している。
群馬県	桐生市	C	桐生市議会議員政治倫理条例を設定した。
埼玉県	秩父市	B	平成23年6月より定例会のインターネット録画配信を始める。
埼玉県	所沢市	E	自治基本条例特別委員会を設置したことに伴い、平成23年1月に公聴会を開催した。議会基本条例制定後に、定例会日程に常任委員会審査予備日を設け、請願に対する参考人招致を行っている。
埼玉県	東松山市	B	市政に対する一般質問において大項目方式を採用している。
埼玉県	戸田市	C	各常任委員会において年間活動テーマを決め、閉会中も活発に委員会を開催
千葉県	千葉市	H	議員からの要望により、傍聴者の子供の託児スペースとして議会棟内の既存施設(議員応接室)を一時的に使用することを認めた。なお、保育者については、上記の議員自らが確保した。
千葉県	松戸市	F	すべての常任委員会を傍聴できるよう、1日1常任委員会の開催をしている。また、市民参加の観点から委員会での請願・陳情の審査の際に一旦休憩して、3分間程度の提出者の意見陳述の場を設けている。
千葉県	成田市	C	議場コンサートの開催。
千葉県	東金市	B	・一般質問通告書の様式について、大・中・小項目まで記入するものに変更し、質問内容をより具体的に表記するものとした。
静岡県	磐田市	C	インターネットで本会議の映像配信を開始(生中継・録画配信)

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
愛知県	犬山市	B	・議場内へのパソコン(タッチパネル式限定)の持ち込み許可(平成23年2月定例会から) ・議員への通知を原則メールで(平成23年1月から) ・視察時に所管の委員長が同席(平成22年8月から) ・議長車を廃止し、公用車を使用(平成23年10月インターネット公売で売却) ・常任委員会ごとに関連団体との懇談会を実施(平成23年度から) ・オープン議長室(毎週月曜日の2時間正副議長が市民の市政相談にのる)(平成23年10月から)
愛知県	大府市	B	議場において難聴者向けに準備しているヘッドホンの貸出しに力を入れた。(平成23年中)
愛知県	高浜市	A	本会議映像の録画した記録媒体(DVD)の貸出しを引き続き実施(平成20年度から)
三重県	津市	D	①ケーブルテレビでの本会議録画放送に加え、第4回定例会からインターネットでの本会議、委員会のライブ・録画配信を実施。 ②教育委員候補者による抱負陳述及び抱負陳述に対する質疑の実施。 ③正副議長候補者による所信、抱負等の表明に対する質疑の実施。
三重県	四日市市	E	・通年議会の実施 ・文書質問制度の導入 ・議会報告会の開催
岐阜県	岐阜市	F	インターネットによる本会議の生中継、録画中継の実施及び録画したDVDの貸出し、視聴、複写を行っている。
岐阜県	美濃市	A	12月定例会において、インターネット(ユーストリーム)による本会議の生中継、録画映像配信の実証実験をおこなった。(平成24年3月定例会から本格実施予定)
大阪府	堺市	H	・円形型の議場 ・本会議場傍聴席に親子室を設置 ・本会議場にスクリーンを設置 ・委員会室及び音声傍聴室に「資料映写用」スクリーン等を設置
大阪府	岸和田市	D	・視察報告会の実施。
大阪府	大東市	C	・本会議開会前に「市民憲章」を唱和。昭和46年に制定された「市民憲章」の内容を今一度噛みしめ、実践していこうと毎定例会の本会議初日の開会前に全員(理事者も)で唱和している。 ・市民に議会報告を行い、意見や提言を受ける場として出前議会報告会を開催 ・市民の代表者や各種団体からの意見や要望を受ける場として出前政策意見交換会を開催 ・市民の意見を積極的に聞くための場として出前委員会を開催
京都府	舞鶴市	B	押しボタン式投票の導入
京都府	亀岡市	B	政務調査費収支報告書及び委員会会議録等のHP公開、委員会傍聴の許可制廃止、議員研修の一般公開
京都府	城陽市	B	第3回定例会(9月議会)から本会議での議員個人別賛否の状況を議会だよりに掲載。
兵庫県	西宮市	F	・包括外部監査人への質疑(3月) ・議会棟扉のオートロック化(セキュリティ強化)(9月)
兵庫県	芦屋市	B	常任委員会の所管事務調査で、継続調査事件となっている案件について、積極的に市内の現地視察を行いました。
兵庫県	伊丹市	C	・開かれた議会への取り組みのひとつとして、議場コンサートを開催。(平成13年第1回定例会より、毎年第1回定例会招集日に開催。) ・第4回定例会招集日に、議場鳴く虫コンサートを開催。(平成21年第3回定例会より、毎年9月定例会招集日に実施。)
兵庫県	西脇市	A	・常任委員会の特定所管事務調査の取組により、政策的条例を提案、可決した。(文教民生常任委員会、西脇市の地域医療を守る条例)
兵庫県	宝塚市	D	定例会の日程において、一般質問よりも先に議案審査を行うこととした。常任委員会では付託案件ごとの論点を明らかにし、その論点ごとに質疑を行うとともに、質疑の中で自由討議の時間を設けている。

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
奈良県	橿原市	C	本市と桜井市、明日香村では、現在世界遺産暫定リストに登録されている「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産郡」の世界遺産登録を目指している。日本書紀の記述によると694年12月6日に藤原宮に遷都されたとあり、世界遺産登録に向け情報発信するため、議場出席者の全員が12月6日古代衣装を着用し、2年連続で本会議を開催している。
奈良県	生駒市	C	●本会議の傍聴については、傍聴規則に基づき、一般傍聴者48席、報道関係者13席を定員とするが、その定員を超えた場合、モニターによる間接傍聴用の63席を別に用意する ●委員会の傍聴については、音声による間接傍聴用に63席を別に用意する ●議案書と資料を傍聴者に貸与 ●委員会の資料は、理事者の許可があれば、傍聴者に配布する ●議事堂ロビーで、市民が描いた絵画の展示を常設 ●記者クラブ室への本会議のモニター中継 ●常任・特別委員会、全員協議会、議案説明会の傍聴定員を定数12席に加え、理事者席の空席を傍聴席として、可能な限り直接傍聴を認める(ただし、百条調査に基づく特別委員会は認めていない) ●一般質問の一括質問方式と一問一答方式の選択制 ●委員会会議録速報版(校閲前原稿)を議会ホームページで公開 ●議会改革に関する検討会・検討部会 ●郵送による陳情書・要望書・要請書等のコピーを図書室に配架 ●常任委員会と特別委員会において、委員外議員は通告なしで自由に発言できる
岡山県	岡山市	H	調査事項34(議会改革の取り組み事例)で挙げた議会改革等推進会議において、ICT活用による会議のペーパーレス化を目的として、タブレット端末を使用した会議を2回試行した。(2011年10月14日、2011年10月25日)
岡山県	美作市	A	ケーブルテレビによる本会議(定例会)生中継を実施
岡山県	浅口市	A	東日本大震災の発生を受け、議員全員が4月～6月までの議員報酬の15パーセントを義援金として寄附することを決議し、4月は議長会へ、5、6月は福島、宮城、岩手の3県の災害対策本部へ寄附した。総額3208500円。
広島県	安芸高田市	A	防音傍聴室を備え、乳幼児同伴の傍聴者に配慮している。
山口県	防府市	C	本会議のインターネット中継、録画中継
徳島県	美馬市	A	ケーブルテレビで本会議のライブ中継並びに録画放映を実施している。
愛媛県	松山市	G	市民に親しまれ、より一層開かれた議会を目指して、議場を利用した講演や軽音楽・和太鼓の演奏等のイベントを開催。(平成23年11月19日開催「親しまれる市議会をめざして～今、議場がおもしろい～」)
福岡県	福岡市	H	特別傍聴席に授乳用のイス及びベビーベッドを設置した授乳スペースを設け、親子傍聴席としての運用を認めている。
福岡県	久留米市	E	【委員会の傍聴について】委員会の傍聴については、委員会室の広さ等を考慮の上、10席以内としており、定員を超える傍聴申請があった場合には抽選を行っていた。これまでは抽選に外れた傍聴希望者の救済策はなかったが、5月からは、議運・特別委員会室で開かれる委員会について、抽選に外れた傍聴希望者50名を限度として、別委員会室でのテレビモニターによる視聴を認めている。
福岡県	大野城市	B	予算委員会を常任委員会として設置している。
佐賀県	佐賀市	D	当市議会はもとより全国のほとんどの議会において、議員の身分を証するものとして議員に「議員章」を交付し、議会及び議員活動等の際に、その着用を義務付けているが、一般的に「議員章」のみでは議員と判断できない場合もあるため、議会改革の一環として議員の名札着用を実施している。《名札着用を実施する目的》(1)名札を着用することにより市職員及び来庁者(市民)の議員認知度を向上させる。(2)議員活動の一環で執行部へ出向く際、議員として適正な行動をすべきであるとの意識向上につなげる。(3)広い意味での議会改革の一環とする。

都道府県	市区名	人口段階	特色ある議会施設・運営の事例
長崎県	壱岐市	A	平成24年より通年議会、議会報告会を実施予定。
熊本県	八代市	C	地域イントラネット、インターネットによる本会議・委員会の生中継及び本会議の録画放送
熊本県	合志市	B	庁舎が分庁方式のため、両庁舎ロビー等のモニターで本会議を放送している。
大分県	大分市	F	・大分市議会議員政策研究会(全議員 46 名を構成員とする)における「大分市子ども条例」の制定 ・大分市議会活性化推進会議における議会改革等に関する検討
大分県	別府市	C	第9回べっぷ子ども市議会を開催。
宮崎県	日南市	B	議場内に放映モニターを設置
鹿児島県	鹿児島市	G	質疑は、議員と当局が向かい合って行う「対面式」で行っており、平成 21 年第2回定例会から質疑の状況がより分かりやすいように、本会議場に質問者の前方からの映像も写し出される傍聴者用のモニターテレビを設置している。